Panasonic

SmartLighting Eco

環境配慮型埋込型器具

施工説明書
取扱説明書

保管用

（一般屋内用）

品　名	本体品番（給電部品ユニット）	反射板アダプタセット品番	反射板品番				連結金具品番
			単　体	連結中用	連結右用	連結左用	
埋込XF318BA（下面開放）	FSA41990	FSK41670	FSK41690A	FSK41691A	FSK41692A	FSK41693A	FSK41999
埋込XF318CA（コンフォート15）		FSK41675	FSK41695A	——	——	——	——
埋込XF318MA（マルチコンフォート15）			FSK41698A	——	——	——	——
フリーXF312DA（フリーコンフォート）		FSK41680	FSK41630A	——	——	——	——

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

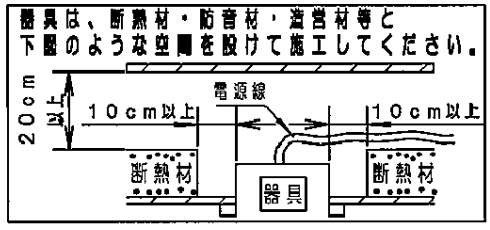
● 施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

● 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。

● 天井埋込専用のため、壁取付や天井直付はしない。
落下・感電・火災の原因となります。

● 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。

● 表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数で使用する。　指定外の電源電圧・周波数で使用すると感電・火災の原因となります。



⚠ 注意

● 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。

● 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。

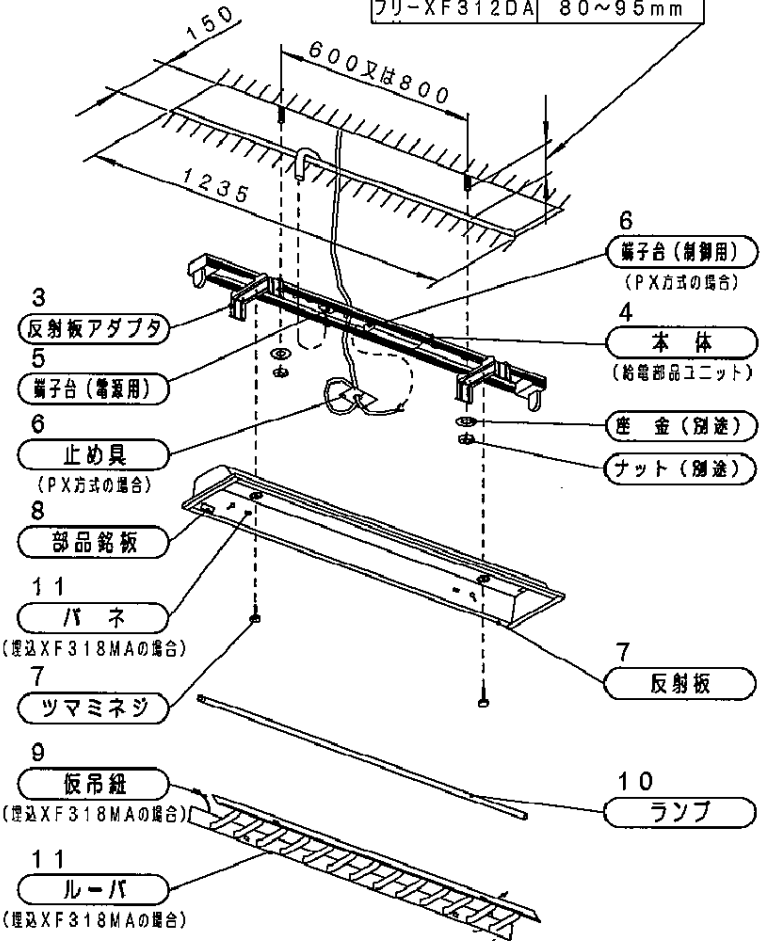
各部のなまえと取付けかた

⚠ 警 告

●施工は、施工説明書にしたがい、確実に行なう。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因になります。

埋込ＸＦ３１８ＭＡの例で説明しています。

品名	ボルト引込み代
埋込ＸＦ３１８ＢＡ	４０～５５ｍｍ
埋込ＸＦ３１８ＣＡ	６５～８０ｍｍ
埋込ＸＦ３１８ＭＡ	６５～８０ｍｍ
フリーＸＦ３１２ＤＡ	８０～９５ｍｍ

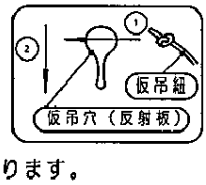


8．ラベルの貼付（ＰＦ・ＰＪ方式の場合）

・本体に同梱している注意ラベルを反射板の部品銘板近傍に貼り付ける。

9．仮吊紐の取付（埋込ＸＦ３１８ＭＡの場合）

・ルーバの仮吊紐を反射板に確実に取付ける。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。

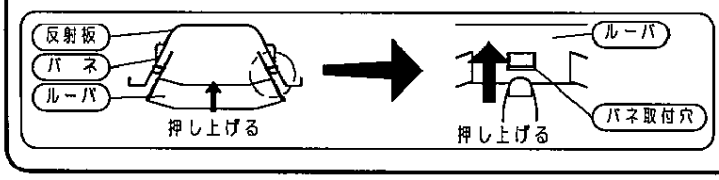


１０．ランプを確実に取付ける

取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

１１．ルーバの取付（埋込ＸＦ３１８ＭＡの場合）

・ルーバをバネに押し込み、ルーバを反射板に確実に取付ける。
（４箇所のバネが飛び出しているのを確認する。）
・バネがバネ取付穴から飛び出していない時は、
下図のようにばね取付穴付近を押し上げる。



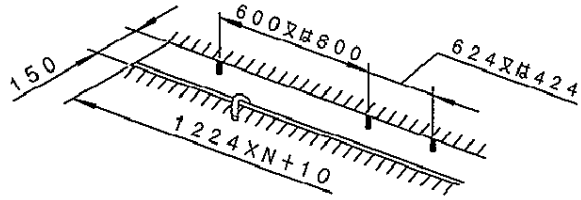
１．取付前の確認

・器具質量（４．３ｋｇ：埋込ＸＦ３１８ＭＡの場合）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、Ｗ３／８又はＭ１０を使用する。
・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

２．埋込穴の開口

・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

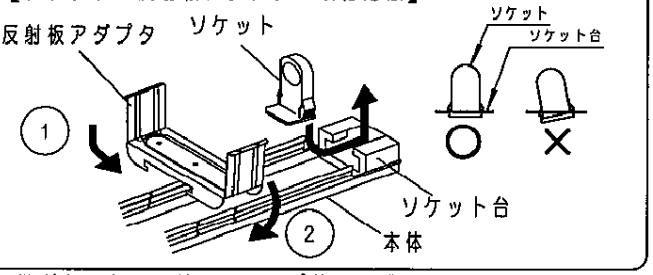
【連結の場合】



３．ソケット・反射板アダプタの取付

・ソケットを本体の内側からソケット台に確実に取付ける。
（『カチッ』と音が鳴るまで確実に引き上げる。）
・反射板アダプタを本体に片側ずつ確実に取り付ける。
（４箇所のつめが本体に取付いていることを確認する。）
・内部配線を傷付けないように取付ける。

【ソケット・反射板アダプタの取付方法】

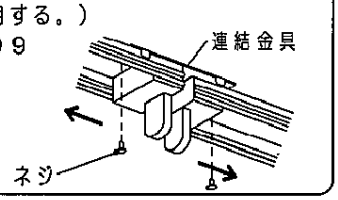


不備があると器具落下・ランプ落下・感電の原因となります。

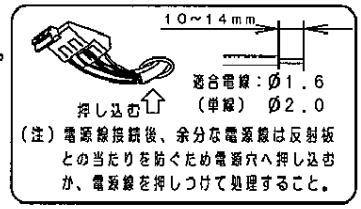
４．本体の取付

・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・内部配線を傷付けないように取付ける。

【連結の場合】
・本体の外側に連結金具（別途）をはめ込み、確実にネジ止めする。
（本体△マーク近傍の穴を使用する。）
・連結金具品番：ＦＳＫ４１９９９
・５台以上の台数を枠なし連結される場合、本体を引っ張りながら連結金具を取付ける。



・本体を取付ボルトに確実に取付ける。（推奨トルク：０．８Ｎ・ｍ）
（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります。）
不備があると器具落下・感電の原因となります。



（注）電源線接続後、余分な電源線は反射板との当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。

５．電源線・アース線の接続

・電源線を確実に差し込む。
・Ｄ種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、２０Ａです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合火災の原因となります。

６．信号線の接続（ＰＸ方式の場合）

・３ページをご覧ください。

７．反射板の取付

・ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取付ける。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

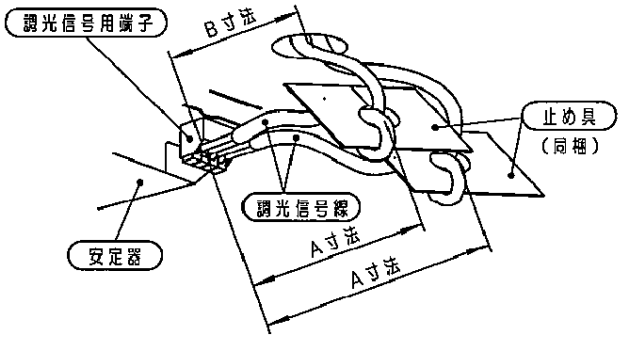
連結用器具の場合
・反射板は、右用から順次取付ける。（注）左用は最後に取付ける。
・連結部に段差がある場合は、ツマミネジの強弱で調整する。

信号線の接続（ＰＸ方式の場合）

⚠警告

● 信号線接続は下記に従い確実に取付ける。不備がある場合、感電・火災の原因となります。

各部のなまえと取付方法

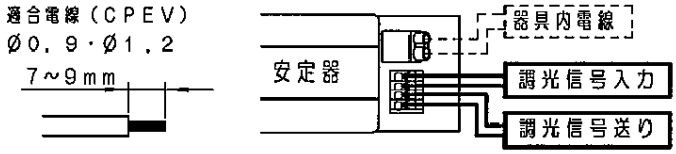


＜信号線の接続と張力止め＞

1．調光信号線を止め具に一回転させる。
　＊送り配線される場合は、２個の止め具を使用。
　（止め具が２個分一体になっている場合は、分断してご使用ください。）

2．Ａ寸法がＢ寸法より長くなる様に調整する。
　（安定器の調光用信号端子に直接張力が加わらないように調整する。）

3．調光信号線を安定器の調光信号続端子差込穴に確実に差し込む。
　・調光信号線に極性はありません。
　接続が不完全な場合、破損・火災の原因となります。



・適合コントローラ
- ●インバータライコン
- ●セルコン（セルコン・セパ，コンビニセルコン，スーパーマーケットセルコン等）
- ●調光Ｔ／Ｕ

・上記以外のものを使用の場合は弊社までお問い合わせください。
・コントローラとの結線又は制御可能台数は使用するコントローラの説明書を参照ください。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

● 器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
● 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
　そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

● ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
● アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
● 照明器具には寿命があります。設置して１０年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
　点検・交換してください。
　※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
● １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意（ＰＨ・ＰＮ・ＰＸ方式の場合）

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
　雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
　事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・ＰＸ方式の場合、下記のことにご注意ください。
　■５～１５℃程度で調光時に移動縞等がでる場合がありますが、異常ではありません。
　■調光範囲は室温、器具形態等により異なります。

取説Ｎｏ．ＦＳＡ４１９９０－Ｔ６

使用上のご注意（ＰＦ・ＰＪ方式の場合）

・この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約７０％の光束を保つように設計されています。
・ランプ交換は器具単位での交換をおすすめします。２灯用器具の場合、１本のみの交換では適正な明るさが得られません。
・電源投入から数秒間に調光状態（初期照度補正状態）となります。始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
・ランプや安定器のバラツキ、経年変化等により輝度差、色ムラが若干目立つことがありますが異常ではありません。
・ランプや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。
・累積点灯時間のリセットついて
タイマーセルコンは累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、照度補正を行っています。
従って、新しいランプに交換される際、累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）必要があります。

ランプ寿命までランプを使用される場合（自動リセットについて）

タイマーセルコンには、ランプ寿命を判断し（この時、間欠発振後、発振停止となります）、自動リセットをおこなう機能が付いていますので、自動的に累積点灯時間をリセットします。後述の手動リセットは不要です。

ランプ寿命前に新しいランプに交換される場合（手動リセットについて）

ランプ寿命前にランプ交換をされる場合、自動リセットが作動しませんので、手動によるリセット操作が必要となります。
手動によるリセット操作方法は以下の通りです。

1）ランプを取り外す。
2）電源ＯＮ（１秒以上）→ＯＦＦ（３秒以上）を３回繰り返す。
3）交換ランプを取り付ける。

手動によるリセット操作が正しく行われていれば、ランプ取り付け後の電源ＯＮ１０秒後に調光開始します。

・停電等による電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
・周囲温度が約５℃～約１０℃で使用される場合、始動時に移動縞が発生することがございますが、数秒～数十秒で解消いたします。
・調光機器などとの組合せはできません。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・照明器具２台以下で、ほたるスイッチと組合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合がありますので、スイッチは２箇所までとしてください。

保証について

・保証について・・・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

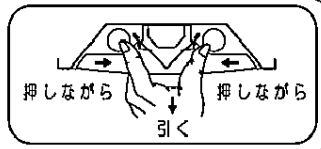
お手入れ・ランプ交換

・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

交換部品	Ｈｆ蛍光ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ

ＦＳＡ２２７０６Ａ、ＦＳＡ４２７０５Ａの場合

1．ルーバを取りはずす。
2．ランプを交換する。
3．ルーバを取付ける。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



⚠注意

●感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
●やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと

プラスユニットの取付（フリーＸＦ３１２ＤＡの場合）

・プラスユニットの取付方法は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

プラスユニット商品名		
	・ＦＨＫ４１３０６Ｆ（乳白パネル）	・ＦＳＫ４１２１５（ＯＡ金属ルーバ クラス１）
	・ＦＨＫ４１３０７Ｆ（プリズムパネル）	・ＦＳＫ４１２２５（ＯＡ金属ルーバ クラス２）
	・ＦＨＫ４１３０８Ｆ（フラット型乳白パネル）	・ＦＳＫ４１２３５（ＯＡ金属ルーバ クラス３）
	・ＦＨＫ４１３０９Ｆ（フラット型プリズムパネル）	・ＦＳＫ４１２７０Ｆ（マルチコンフォート１５ルーバ）
		・ＦＳＫ４１２５９（スペースコンフォート）

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒５７１－８６８６　大阪府門真市門真１０４８
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　０１２０－８７８－３６５（フリーダイヤル）　０１２０－８７８－２３６（ＦＡＸ）
ＭＮ０３０６－０６０８１２